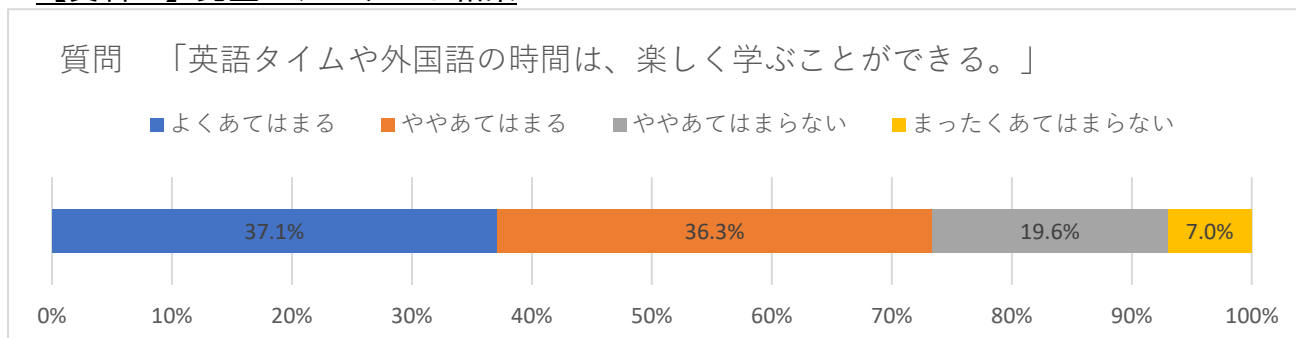


令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度4年生から6年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語タイムや外国語の時間は、楽しく学ぶことができる。」という質問に対し、「よくあてはまる」と回答した児童は約37.1%、「ややあてはまる」と回答した児童は約36.3%だった。二つの回答を合わせると約73.4%だった。

【資料1】児童のアンケート結果

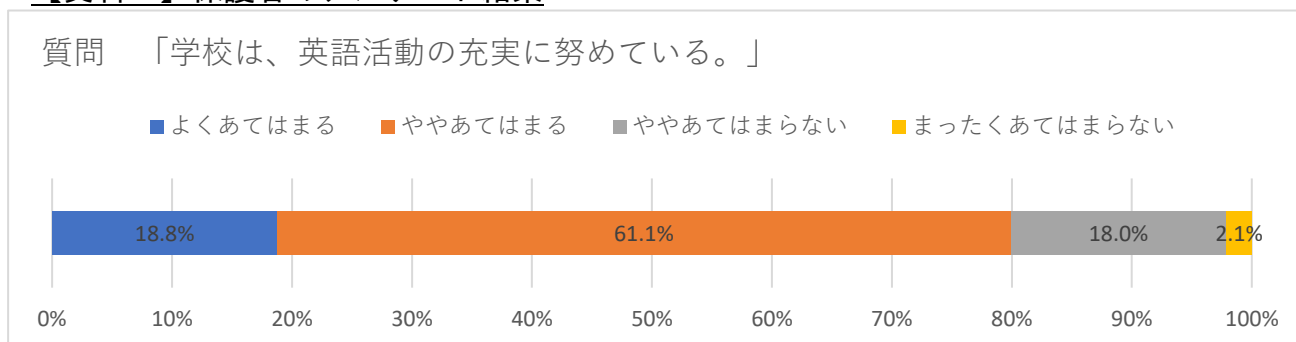


これらのことから、本校の多くの児童は英語タイムや外国語の時間を通して、楽しく学ぶことができていると考えられる。

2 学校関係者評価結果

令和7年度保護者にアンケートを行ったところ、「学校は、英語活動の充実に努めている。」という質問に対し、「よくあてはまる」と回答した保護者は約18.8%、「ややあてはまる」と回答した保護者は約61.1%だった。二つの回答を合わせると約79.9%だった。

【資料2】保護者のアンケート結果



このことから、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の回答をした保護者の割合は、児童の回答の割合と同じようではあるが、「よくあてはまる」と回答した割合は児童と保護者で大きな差がある。

3 まとめ

英語タイムや外国語活動、外国語科を通して、児童はALT（外国語指導助手）やST（小学校英語指導補助員）のネイティブな英語に触れ、楽しく学ぶことができている。しかしアンケート結果から、外国語活動や外国語科のねらいが保護者に伝わっていない現状が分かる。通知表などを通して、児童が英語に親しむ様子を発信する必要がある。